こしがや市議会だより
harmony
ハーモニー

No.213
令和3年（2021年）
11月1日

発　行　越谷市議会
編　集　議会報専門協議会
☎963-9261（直通）FAX966-6006

◆主な議案の内容 …… ②③
◇審議結果 …… ③
◇常任委員会の活動 …… ④
◇特別委員会の活動 …… ⑤
◇市政に対する一般質問 …… ⑥⑦
◇市議会からのお知らせ …… ⑧

令和２年度歳入歳出決算を認定

― 決算特別委員会にて４日間審査 ―

９月定例会の概要

令和３年９月定例会は、９月１日から２９日までの２９日間にわたり開催しました。

本定例会では、「令和２年度越谷市一般会計歳入歳出決算認定について」など、３０件の市長提出議案をそれぞれ可決または認定しました。また、議員提出議案「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について」は、全員一致で可決しました。

さらに、提出された請願「適格請求書等保存方式（インボイス制度）の実施を中止するよう政府に意見書の提出を求める件」は、賛成少数で不採択となりました。

（各議案の結果は３ページに掲載しています。）

※定例会の日程は市議会ホームページをご覧ください。

傍聴席の音声が聞き取りやすくなりました

令和３年６月定例会にて、傍聴にお越しいただいた複数の方から、「音声が聞こえづらい」とのご意見をいただき、傍聴の視聴環境を改善するため、傍聴席に新たにスピーカーを２台設置しました。

市議会だよりの表紙写真を募集しています。
（詳しくは8ページをご覧ください）

表紙の写真　「落ち葉に映る影」
撮影者　寺田　静子様（北越谷在住）
撮影場所　越谷市民球場付近（令和２年(2020年)11月）

こしがや市議会だよりの愛称「harmony」は、ワンチームを連想させ、調和を奏でるとの思いが込められています。

UD FONT by MORISAWA

スマホ用アプリ「マチイロ」で市議会だよりをご覧いただけます。
マチイロ

市議会の様子は、市議会ホームページからご覧いただけます。　越谷市議会　検索
http://www.city.koshigaya.saitama.jp/kurashi_shisei/gikai/

主な議案の内容

質疑および討論については、その主なものを掲載し、審議結果等については、３ページに掲載しています。

各議案の概要は市議会ホームページに掲載しています。

市長提出議案

越谷市立学校設置条例の一部を改正する条例制定について

小中一貫教育の効果的な実現を図るため、新たな越谷市立蒲生小学校を設置することに伴い、所要の改正を行う必要があるため、提案されました。越谷市立蒲生小学校と越谷市立蒲生第二小学校を合併し、新たな越谷市立蒲生小学校を設置するものです。蒲生学童保育室および蒲生第二学童保育室についても同様の改正を行うものです。

本条例は、令和４年（２０２２年）４月１日から施行します。

現在の蒲生小学校

財産の取得について（自動水栓）

自動水栓を取得するにあたり、予定価格が、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例に規定する額以上となるため、提案されました。

取得財産は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市内小中学校の廊下やトイレにある洗面台の蛇口の一部を自動水栓に交換するものです。自動水栓本体として７８５個、付属品としてＬ型ジョイント６２７個および自在水栓１５８個を取得するものです。価格は１９２０万５９９円で、契約の相手方は、株式会社ハッピークリーンです。

令和３年度越谷市一般会計補正予算

第５号　歳入では、交付額が決定した普通交付税などの整理のほか、補助事業費の内示等による国県支出金、繰越金および市債の整理が主なものです。歳出では、事業費の整理をはじめ、財政調整基金や公共施設等整備基金への積立金の追加が主なものです。

補正予算額は、一般会計で９８億８０００万円、特別会計全体で２７億９７７７万１０００円の追加となります。

第６号　歳入では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金のほか、埼玉県都市競艇組合補助金を追加します。歳出では、入院待機者支援業務委託料や稲作農業経営者支援金のほか、中小企業者等影響緩和支援金の追加が主なものです。

補正予算額は一般会計で１億９８００万円の追加となります。

補正後の予算総額は、一般会計で１１５５億４８００万円、特別会計全体で６０５億９６７７万１０００円、事業会計を含めた全会計の予算総額は、２００４億２０７７万１０００円となります。

▶議案質疑

問　稲作農業経営者支援金の目的と期待される効果は。

答　新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置に伴う、外出自粛や飲食店の営業時間短縮等の影響により、外食需要が激減するなど、令和３年度産米の大幅な価格下落が予想されている。このことにより、市内稲作農業経営者は大きな経済的打撃を受ける可能性があり、農業従事者の減少や耕作放棄地の増加が懸念される。今後の経営安定および生産意欲向上を図るため、次期作付けに向けて支援金を給付することで、稲作農業経営者の事業継続を支援していくものである。

市内農地の稲穂

問　中小企業者等影響緩和支援金の目的と期待される効果は。

答　緊急事態措置等に伴う飲食店等の休業、時短営業や外出自粛等により、飲食店等と取引のある小売業・卸売業のほか、客足の減ったサービス業が大きな影響を受けている。飲食店等については、これまで感染防止対策協力金による支援が行われているが、本支援金は協力金の支給対象となっていない市内中小企業者を対象とする、経済対策としての事業者支援を目的としている。具体的には、国の月次支援金の上乗せとして本市独自の支援金を給付することで、コロナ禍における市内中小企業者の事業活動の継続および雇用の維持等に効果が期待できると考えている。

令和２年度歳入歳出決算認定

一般会計の決算額は、歳入では対前年度比５０．１％増の１６０８億１７５１万１５３８円、歳出では対前年度比５１．５％増の１５４１億８６７１万３０８１円でした。

８つの特別会計全体の決算額は歳入が５９７億５２２９万８５１７円、歳出が５６９億６８４６万７８５３円でした。

病院事業会計では、収益的収入および支出のうち収入額が１１８億９８２４万５０１２円、支出額が１１５億８３１５万７５５０円で、資本的収入および支出のうち、収入額が２億５７８９万２１２０円、支出額が８億６６万４８４３円でした。なお、収支の不足額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

公共下水道事業会計については、収益的収入および支出のうち収入額が６７億１２１１万４２２０円、支出額が６２億６４１９万７７８３円で、資本的収入および支出のうち、収入額が２２億７５０５万８８０１円、支出額が４３億５１９０万５７４３円でした。なお、収支の不足額は、当年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

一般会計および各特別会計の歳入歳出決算認定、ならびに事業会計決算認定の１１議案については、決算特別委員会を設置し、４日間にわたって審査しました。

※委員会における主な審査の内容は、５ページの「決算特別委員会の活動」をご覧ください。

議員提出議案

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について

この議案は、大野保司議員ほか６人から共同提案されました。

意見書の要旨

１　令和４年度以降３年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針２０２１」において、令和３年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が毎年度増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。

２　固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じた措置は、本来国庫補助金などにより国の責任において対応すべきものである。よって、現行の特例措置は今回限りとし、期限の到来をもって確実に終了すること。

３　令和３年度税制改正において土地に係る固定資産税について講じた、課税標準額を令和２年度と同額とする負担調整措置については、令和３年度限りとすること。

４　令和３年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。

５　炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

意見書提出先　衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣

▶議案質疑

問　「炭素に係る税の創設又は拡充」と「コロナ禍による厳しい財政状況への対処」の関連は。

答　一般財源の総額について、令和２年度は６３兆４０００億円、令和３年度は６３兆１０００億円で３０００億円程度減少している。こうしたことから、全体として地方税財源に影響を与えるべきではないと考えている。

問　「炭素税」と「環境税」のどちらを指しているのか。

答　意見書においては、「炭素に係る税」として幅広く捉えて今後の検討に委ねている。意見書の趣旨は、あくまでもコロナ禍における地方税財源の充実を求めるものである。

請　　願

※請願の全文は市議会ホームページに掲載しています。

適格請求書等保存方式（インボイス制度）の実施を中止するよう政府に意見書の提出を求める件

請願の要旨

適格請求書等保存方式は、課税業者が納税地の税務署長に申請して事業者登録番号を取得する必要があり、領収書等に番号の記載がなければ課税仕入れ等に係る消費税の計算から除外されることになる。登録番号がもらえない全国で５００万ある免税事業者は商取引から排除されることで商売が立ちゆかなくなり廃業を選択することは避けられない。

そこで政府に対して長期化するコロナ禍や社会情勢のもと、新たな過重負担を招くインボイス制度の実施は中止するよう意見書を提出することを求める。

▶反対討論

▷　軽減税率の導入に伴い、複数の税率を正確に把握する必要があり、仕入れや販売における不正を防ぐためにも、本制度が必要である。さらに、受発注業務の電子化などにより、中小企業の生産性が広く底上げされ、税収増以上の価値を生み出す可能性が期待されることから、反対する。

▷　軽減税率の導入、益税の抑制、不正やミスの防止という観点から、本制度を実施することによって、さらなる財源の確保が明確になると考える。税制度においては、税の公平性や適正性、透明性が求められ、正確な税額を把握するため、本制度導入は必然と考え、反対する。

▶賛成討論

▷　本制度は免税事業者からの仕入れに対して仕入税額控除が適用されないことや、中小企業の費用負担が問題となっている。新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、事業者のさらなる事務負担軽減や電子インボイス導入支援のための補助金創設などの措置を講じる必要があると考え、賛成する。

▷　本制度の導入により零細業者の廃業が懸念され、事業税や法人税収入の減少が見込まれる。本来、所得税が税収の柱となるべきであり、消費税が税収の柱となってはならない。コロナ禍でも利益を上げている資産家、大企業に応分の負担を求め、市内事業者を守ることこそ政治の責任であると考え、賛成する。

▷　本制度は免税事業者が取引から排除される恐れがあるほか、社会保障の充実という消費税の本質に反している。また、コロナ禍における企業の倒産が相次ぐ中で、事業者の負担がさらに増大するのは必定であり、新たな租税回避行為が生じる恐れもあることから、賛成する。

令和３年９月定例会　審議結果

◇議案の概要は市議会ホームページから確認できます。

すべての議員が賛成した議案（議長を除く）

議案番号	付託委員会	議案名
市長提出第７９号	総務	越谷市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について
市長提出第８０号	総務	埼玉県都市競艇組合規約の変更について
市長提出第８１号	民生	越谷市保護施設等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
市長提出第８２号	環境経済・建設	損害賠償額を定め和解することについて
市長提出第８３号	環境経済・建設	市道路線の廃止について
市長提出第８４号	環境経済・建設	市道路線の認定について
市長提出第８６号	子ども・教育	越谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
市長提出第８７号	子ども・教育	財産の取得について（自動水栓）
市長提出第８８号	分割（※）	令和３年度越谷市一般会計補正予算（第５号）について
市長提出第８９号	民生	令和３年度越谷市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）について
市長提出第９０号	民生	令和３年度越谷市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）について
市長提出第９１号	民生	令和３年度越谷市介護保険特別会計補正予算（第１号）について
市長提出第９２号	子ども・教育	令和３年度越谷市母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計補正予算（第１号）について
市長提出第９３号	環境経済・建設	令和３年度越谷都市計画事業東越谷土地区画整理事業費特別会計補正予算（第１号）について
市長提出第９４号	環境経済・建設	令和３年度越谷都市計画事業七左第一土地区画整理事業費特別会計補正予算（第１号）について
市長提出第９５号	環境経済・建設	令和３年度越谷都市計画事業西大袋土地区画整理事業費特別会計補正予算（第１号）について
市長提出第９６号	総務	令和３年度越谷市公共用地先行取得事業費特別会計補正予算（第１号）について
市長提出第９８号	決算	令和２年度越谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
市長提出第９９号	決算	令和２年度越谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
市長提出第100号	決算	令和２年度越谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
市長提出第101号	決算	令和２年度越谷市母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計歳入歳出決算認定について
市長提出第102号	決算	令和２年度越谷都市計画事業東越谷土地区画整理事業費特別会計歳入歳出決算認定について
市長提出第103号	決算	令和２年度越谷都市計画事業七左第一土地区画整理事業費特別会計歳入歳出決算認定について
市長提出第104号	決算	令和２年度越谷都市計画事業西大袋土地区画整理事業費特別会計歳入歳出決算認定について
市長提出第105号	決算	令和２年度越谷市公共用地先行取得事業費特別会計歳入歳出決算認定について
市長提出第106号	決算	令和２年度越谷市病院事業会計決算認定について
市長提出第107号	決算	令和２年度越谷市公共下水道事業会計利益処分及び決算認定について
市長提出第108号	省略	令和３年度越谷市一般会計補正予算（第６号）について
議員提出第　４　号	省略	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について

賛否が分かれた議案・請願

議案番号	付託委員会	議案名	自由民主党越谷市議団								公明党越谷市議団						立憲・市民ネット					日本共産党				刷新クラブ				維	無		賛成	反対	本会議議決結果
		議員名	野口佳司	伊藤治	金井直樹	島田玲子	小林豊代子	大野保司	服部正一	野口和幸	岡野英美	守屋亨	竹内栄治	瀬賀恭子	畑谷茂	久保田茂	細川威	後藤孝江	松田典子	山田裕子	清水泉	山田大助	宮川雅之	工藤秀次	大和田哲	松島孝夫	武藤智	浅古高志	野口高明	小林成好	白川秀嗣	菊地貴光			
市長提出第８５号	子ども・教育	越谷市立学校設置条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	24	5	可決
市長提出第９７号	決算	令和2年度越谷市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	25	4	認定
３請願第２号	総務	適格請求書等保存方式(インボイス制度)の実施を中止するよう政府に意見書の提出を求める件	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	10	19	不採択

※総務、民生、環境経済・建設、子ども・教育分割

凡例 ○･･･賛成　×･･･反対　　議･･･議長（議長は採決に加わりません）

会派名の日本共産党は「日本共産党越谷市議団」、刷新クラブは「越谷刷新クラブ」、維は「日本維新の会」、無は「無所属」の略

≪越谷市議会議員　条例定数＝３２人　現員数＝３０人≫

常任委員会の活動

９月定例会に上程された議案のうち、市長提出議案１８件と請願１件が所管の常任委員会に付託され審査を行いました。
※質疑のあった議案について主な質疑と答弁を掲載しています。ＱＲコードを読み取ると、委員会の録画映像をご覧いただけます。

総　務

適格請求書等保存方式（インボイス制度）の実施を中止するよう政府に意見書の提出を求める請願について

本請願は紹介議員ならびに参考人として請願団体から３人の出席を求め審査しました。

問　現在適用されている軽減税率をやめて一定の税率でよいとの認識か。

答（紹介議員）　政府は軽減税率と考えているが、８％に上げた時点で重い負担になっている。そこから１０％に上げ、一部を据え置いただけであり、軽くも減ってもいないので軽減税率ということ自体どうかと考えている。

問　軽減税率は国民に定着しており、インボイス制度の導入は、取引の正確性、透明性を高め、正確な経理処理を可能にすることを目的としているが、紹介議員の認識は。

答（紹介議員）　複数税率となってから半年も経たないうちにコロナの混乱が起き、定着の話題は上がらず、その混乱が目立たないだけであり、定着しているとは考えていない。正確性や透明性のある制度と理解するが、一方的な見方であると考えている。

問　税の公平性に対する認識は。また、適正な納税の考え方は。

答（紹介議員）　中小零細業者をさまざまな面で支える仕組みがないと、税の公平性を議論するのは、おかしいと考えている。法人税収が減っていることも含めて議論しなければいけない問題と思っている。

▶発言　制度を実施することにより、財源の確保が明確になると考える。税の公平性や適正性、透明性の観点からも、正確な税額の把握に制度の導入は必然と考える。

▶賛成討論　インボイス制度は、免税事業者が取り引きから排除される恐れがある。儲けに応じて負担する税制度の原則を守るべきであり、事業者のいのちとくらし、経営を守るために、制度導入は中止すべきであるとの理由から本請願に賛成する。

埼玉県都市競艇組合規約の変更について

問　事業により生じた利益金および剰余金の分配は関係市均等割となっているが、市からの負担金等も含め、分配の仕組みは。

答　ここ十数年、市から負担金等は拠出していない。分配金は、売り上げに対して２％から３％の割合で各市に分配されている。独立採算で運営がなされ、収益に応じ各市に分配されるものと考えている。

令和３年度越谷市一般会計補正予算（第５号）について

問　地方交付税と臨時財政対策債の増額の理由および今後の見込みは。また、さらなる国への働きかけは。

答　当初予算の段階で市税が大幅な減額となる見込みを踏まえ、普通交付税と臨時財政対策債を合わせて９１億円を計上した。今後、高齢者保健福祉費等が増える可能性があるが、収入額は財源不足が生じ、今回と同額またはそれ以上になることもあると考えている。また、国税を原資とする交付税総額が伸びないことから、臨時財政対策債で補わざるをえず、危機意識を持っている。引き続き、臨時財政対策債の償還額の保証、交付税総額の増額等も含め、中核市市長会等を通じて要望していきたいと考えている。

問　庁舎改修工事および消防団器具置場において建築資材に係る納期および価格変更への対応は。

答　工事発注の際、納期等を業者に確認している。資材等が高騰した場合、補てん等の対応を考えている。また、消防団器具置場の建設も業者と調整し、価格変動による影響が少ない仕様で、地元消防団の意見を聞いたうえで建設している。

令和３年度越谷市公共用地先行取得事業費特別会計補正予算（第１号）について

問　（仮称）桜井分署の候補地および機能は。

答　間久里分署の建て替えを行う必要があるため、同地区内に用地を取得し、移転を予定している。候補地は県立越谷北高等学校の北側約４７００㎡である。また、女性専用設備や非常用発電設備の燃料を貯蔵する少量危険物貯蔵施設等を設置し、救急隊の増隊にも対応できるよう予定している。

現在の間久里分署庁舎

民　生

越谷市保護施設等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

問　市内における対象施設数および周知は。

答　対象施設はない。条例改正後はホームページ等で周知を行う。

令和３年度越谷市一般会計補正予算（第５号）について

問　住居確保給付金の申請状況および周知は。

答　８月末時点で１５２世帯、４３５件、支給額２０９２万６９００円。ホームページや面接相談で情報提供を行っている。

問　感染症対策に係る会計年度任用職員の状況および事業所で発生した場合の対応は。

答　４名を増員している。事業所で発生した場合、速やかに対応していく。

環境経済・建設

損害賠償額を定め和解することについて

問　当該事故の過失割合および原因は。また、車輌のドライブレコーダー設置状況は。さらに、全庁的な設置に向けた考えは。

答　市側が８０％、相手側が２０％であり、本人の不注意が原因である。また、ドライブレコーダーは設置していなかった。今後の設置は、総務部等と調整していきたい。

令和３年度越谷市一般会計補正予算（第５号）について

問　住宅・店舗改修促進補助金の交付件数と工事総額および利用者の反応は。

答　令和３年度は１２３件、工事総額は税抜き１億６６４９万２１７９円の概算である。また、昨年度の事業者ヒアリングで、利用者から好評であるとの話をいただいた。

子ども・教育

越谷市立学校設置条例の一部を改正する条例制定について

新たな敷地確保などについて質疑がありました。

▶反対討論　中学校用の土地を新たに確保すれば、合併は必要ないと考え、反対する。

財産の取得について（自動水栓）

問　自動水栓の設置箇所および設置率は。また、今後の設置計画は。

答　主にトイレや廊下等の手洗い場、保健室に設置し、設置率は平均約２４％である。今後も各学校の実態や状況を見つつ、追加の設置を検討していく。

問　昨年度購入時の金額からの差額理由は。

答　昨年度はコロナ禍で自動水栓の在庫が品薄だったが、現在はメーカー側の増産に加え、今回の大量購入によりスケールメリットが働き、販売価格が低下したと考える。

トイレに設置されている自動水栓

令和３年度越谷市一般会計補正予算（第５号）について

問　修学旅行の実施状況および集団宿泊行事臨時補助金の支出状況は。

答　市内中学校のうち修学旅行を実施した学校が１校、中止が１０校、検討中が４校となっている。現時点で集団宿泊行事臨時補助金を支出した事例はないが、今後、発生する可能性があると見込んでいる。

決算特別委員会の活動

９月定例会では１０人の委員で構成する決算特別委員会を設置し、令和２年度の決算認定議案１１件について審査しました。
※質疑のあった議案について主な質疑と答弁を掲載しています。ＱＲコードを読み取ると、委員会の録画映像をご覧いただけます。

決算特別委員会委員（◎委員長、〇副委員長）
◎島田　玲子　〇山田　裕子　大和田　哲　小林　成好　野口　和幸
松田　典子　畑谷　茂　武藤　智　守屋　亨　金井　直樹

一般会計

問　財政調整基金の目標額の考え方は。

答　財政調整基金は、標準財政規模の１０％を目途に取り組んでおり、第５次越谷市総合振興計画でも同水準以上の維持を達成指標としている。また、国や県からの同水準以上が望ましいとの助言や、中核市平均が１０％強という状況を踏まえ、まずは１０％を目標とし、基金取り崩し後に１０％の残高があればさらに望ましいものと考えている。

問　防犯カメラの設置に関する意向調査の考えと設置要望があった地区への対応は。

答　新越谷駅周辺や、自動販売機の売り上げを利用して設置した際は、周辺の自治会長に説明した。全自治会に対する設置要望調査は行っていないが、複数の地区から要望があることは認識している。しかし、今は自動販売機の売り上げを利用して設置したカメラ４０台の効果を見極める段階と考えているため、要望に対する具体的な意向調査は行っていない。クラウドファンディングや団体から寄附を募ることなど、さまざまな検討が必要であるため、多方面から知恵を借りながら、効果的な設置を検討したい。

問　「地域包括支援センター大相模」の開設による効果と地域への周知は。

答　川柳地区内に設置していた地域包括支援センターを分離し、大相模地区センター内に開設した。令和３年４月から８月の相談件数は、大相模地区のみで２３６０件であり、昨年度同時期の大相模地区と川柳地区を合わせた件数よりも増加した。近隣住民が容易に来所できるようになったことが増加の要因と捉えている。また、開設にあたっては、広報こしがやや市のホームページ、地区センターだよりでの周知のほか、自治会連合会や民生・児童委員協議会、地区のコミュニティ推進協議会委員への周知など、各団体と協力しながら周知を行った。

地域包括支援センター大相模

問　母子健康づくり事業におけるコロナ禍に対応した新たな取り組みの考え方は。

答　子育て世代包括支援センター立ち上げ時より、いわゆるネウボラの形として、母子手帳を渡すときから顔の見える関係性を作り、積極的な連携を図ってきた。コロナ禍で事業の中止期間は顔が見えない関係性となったため、出産・育児に係る妊娠中の栄養やもく浴に関する動画等を配信したが、それだけでは心のケアまで行き届かないことは承知しており、例えば、子育て世代包括支援センターへの直接のメール相談を実施し、いただいた悩み事には保健師や助産師が回答している。コロナ禍に対応した取り組みが必要になってきていることは承知しており、他市や感染の状況を踏まえ検討したい。

問　集団的いちご観光農園第２工区造成工事の内容は。また、雇用創出の取り組みは。

答　いちごタウンオープンから７シーズン目となるが、来園者は多く、いちご需要は続くと見込んでいるため、第２工区を整備することになった。現在、水田を畑にするための造成を進めており、造成後は民間事業者が建物等を建設し運営していく予定である。また、開園後は、さらなる雇用が必要となることから、農業高校や農業大学校の卒業生の雇用を打診しており、事業者としても地元に根付いた事業展開をしたいとの思いがあるため、今後も連携していきたい。

越谷いちごタウン

問　事業継続支援金、飲食店等応援クーポン発行事業およびテイクアウト・デリバリー導入等支援事業費補助金の実績は。

答　事業継続支援金は、売上減少等の影響を受けた市内事業者に対し、幅広く支援することを目的に４０００件程度を見込んでいたが、応募要件緩和により５０２１件の申し込みがあった。飲食店等応援クーポン発行事業は、コロナ禍で影響を受けている飲食店への支援等を目的に最大約５００件を見積もったところ、３２２件の申請があった。テイクアウト・デリバリー導入等支援事業費補助金は、テイクアウトやデリバリーを始める事業者の応援等を目的に９００店舗を想定していたが、新規事業のための補助金という性質上、１７５件にとどまった。

こしがや愛されグルメ×こしがや素ごもりグルメ応援クーポン

問　新型コロナ対応に係るスクール・サポート・スタッフと学習指導員の内容は。

答　スクール・サポート・スタッフは、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた「学びの保証」のための人的・物的体制整備の一環によるものであり、市内全ての学校に配置した。業務内容は、コロナ禍に伴って学校が行う清掃消毒作業や、教員が行う事務の手伝いなどである。学習指導員については、コロナ禍による臨時休業に伴う児童生徒の学習への影響を最小限にするため、４５校に延べ８３人を配置した。業務内容は、授業の準備やティームティーチング、教科担当の補助、家庭学習の準備、採点などである。

▶反対討論

歳入では、新型コロナ感染症対応地方創生臨時交付金の多額の追加などで、本市でも多くの支援策を実施した。歳出では、市独自で住宅・店舗改修促進補助金事業が開始されたほか、市民生活に関わる多くの事業が取り組まれた。一方、小中一貫校整備に向けた委託料が計上されたが、（仮称）蒲生学園や（仮称）川柳学園の基本設計に関する住民意見の反映がなく、また、本来学校を設置するべきレイクタウン地域での用地確保に努めていない。計画策定前に、関係者の理解を深めるべきである。多くの点で市の努力があったことは理解するが、同委託料については認められず、反対する。

▶賛成討論

歳入では、自主財源で市政を支える大きな柱となる市税について、対前年度比０．４％増となった。歳出では、経常経費の節減を図りつつ、限られた財源の効率的・効果的な配分を行い、感染症対策や各種支援策をはじめ、各分野で成果があった。また、主要な財政指標を見ると、財政力指数や実質公債費比率、将来負担比率は、厳しい状況でも良好な水準を維持できている。以上のことから、コロナ禍においても、健全財政の維持を念頭に、積極的な財源確保に努めつつ、本市の将来都市像の実現に向けて、創意と工夫を凝らした事業の着実な推進が図られたと判断し、賛成する。

病院事業会計

問　医薬品の購入および業者選定の考え方は。また、費用削減や在庫管理の取り組みは。

答　医薬品は、薬事委員会で決定している。当委員会に諮る医薬品については、事務局である薬剤科を中心に、医師の意向も踏まえ、まずは安価なもの、ジェネリックのものを推奨している。今後もより安価で効果的なものを安定供給できるメーカーの医薬品を取り入れるよう努める。また、市立病院では、「的確に医療消耗品等を各部署に供給する」、「過剰な在庫を解消する」、「保険の請求漏れを防止する」ことを目的にＳＰＤシステム（※）を導入している。今後もＳＰＤを活用し、棚卸しを適正に行いながら、過剰在庫を抱えることがないよう努める。
※Supply Processing and Distributionの略語で物流管理システムのこと

決算特別委員会の様子

市政に対する 一般質問

９月定例会では１７人の議員が市政全般について質問を行いました。
一般質問は、新型コロナウイルス感染症対策のため出席者を必要最小限にして実施しました。

Q ウィズコロナ・アフターコロナを見据えたパンデミック時の対応について

立憲・市民ネット　後藤　孝江　議員

問　保健所設置中核市としてふさわしい行動計画等のパンデミック時の構築は。
市長　今般のコロナ禍の経験を生かし、保健所の人員体制確保の手段や独自の対策などを検証し、本市の新型インフルエンザ等対策行動計画の見直しを進めていく。
問　新型コロナと季節性インフルエンザのワクチン接種等のツインデミック対策は。
市長　医師会と検討中で、希望者が各ワクチンを接種できるよう体制確保に努める。

Q 自動車運転免許証返納者への公共交通利用チケットの配付について

日本維新の会　小林　成好　議員

問　高齢者ドライバーの事故が増えている状況で、運転免許証返納促進の観点から、返納者に公共交通利用チケットを交付する考えは。
市長　常時移動手段を確保するためには、継続した交付が必要となることから、導入は難しいと考えている。埼玉県では、運転免許証の返納者に対するシルバー・サポーター制度があるため、制度の周知と事業者への導入促進に取り組んでいく。

Q 登校選択制の導入について

立憲・市民ネット　山田　裕子　議員

問　感染不安などから登校を自粛している児童生徒のために、自宅学習でも出席扱いとなるよう授業のライブ配信を含めたいわゆる「登校選択制」を導入する考えは。
教育長　現在、感染不安で登校を自粛する場合は出席停止扱いとしているが、今後も感染状況により臨時休業や分散登校を実施しながら感染防止対策を徹底し、保護者や児童生徒の不安を解消するよう努めていく。

Q 児童・生徒の教育環境について

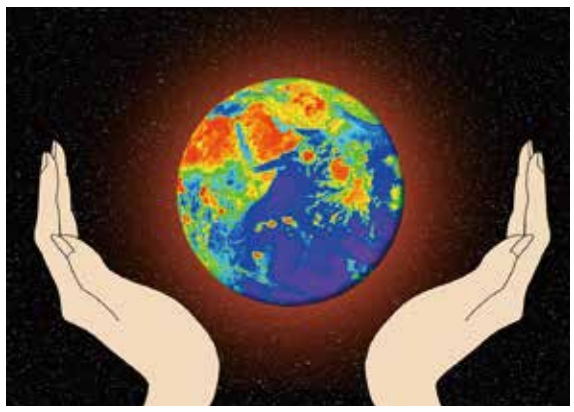
日本共産党越谷市議団　大和田　哲　議員

問　レイクタウンの学区域である大相模小学校、明正小学校、川柳小学校はいずれも大規模校となっている。遊び場がないと子どもたちは困っている。３学園構想でも学校が窮屈になるが、どう考えるのか。
教育長　校舎面積、運動場の面積、体育館やプール等の授業の割り当て等の課題で、調整が難しくなる場合があると承知している。これらについて、より具体的な内容を今後も検討したい。

Q 越谷市のＣＯ₂削減目標値とそのロードマップについて

無所属　白川　秀嗣　議員

問　地球温暖化対策のため、政府は２０３０年度までにＣＯ₂削減目標値を４６％にする方針を示したが、本市は目標値を２６％のまま本年３月に越谷市環境管理計画を策定した。４６％への目標変更とその実現に向けたロードマップ策定の必要性は。
市長　本市では、２０５０年までにＣＯ₂をゼロにする「ゼロカーボンシティ共同宣言」を近隣４市１町と表明しており、今後も関係機関と連携して進めていく。


地球が死滅する前に･･･

Q 適正な扶助費削減の可能性について

自由民主党越谷市議団　野口　和幸　議員

問　生活保護被保護者数や扶助費が増加の一途だが、国の補助金を活用し、消えた年金の再調査から高齢者や障がい者の被保護者が自立可能となる支援導入の考えは。
市長　消えた年金記録の問題はいまだ解決されておらず今後も新たに受給権を取得できる方が相当いると推察する。年金が受給できることで、被保護者の自立助長につながることの意義は大きく、適正な扶助費削減にもつながるため、検討を進めていく。

年金手帳

Q 敬老パスの導入について

越谷刷新クラブ　松島　孝夫　議員

問　敬老パスは、対象年齢、対象交通機関、利用制限など地域によってさまざまであり、制度設計次第では有効と考える。さらに対象の交通機関に対し、乗車実績に見合う助成金を支払うことができれば、公共交通の維持にもつながると考えるが見解は。
市長　敬老パスの導入は、高齢者の社会参加や健康増進を図る機会の支援などのメリットがある一方で、継続する上での財源確保の課題があり、難しいと考える。

Q 市内産米の需要低迷と価格への影響について

越谷刷新クラブ　浅古　高志　議員

問　新型コロナウイルス感染症の影響による市内産米の価格低迷や需要低下に対する支援の考えは。
市長　稲作農業者への支援として、農地利用集積事業などさまざまな事業を行ってきた。水田をはじめとする農地は貴重な地域資源であり、将来にわたり維持、守るべきものと考えている。米づくりが持続的に行われるよう、稲作農業者への支援について検討を進めていく。

Q 就労障害系の福祉サービス事業所の推移と現状について

無所属　菊地　貴光　議員

問　障がいのある方が利用する、就労系障害福祉サービス事業所の現状は。
市長　就労継続支援Ａ型が１２事業所、定員２２７名、Ｂ型が１７事業所、定員４１４名。今後も量と質の確保に努める。
問　農作業を行っている事業所の取組状況と農福連携についての考えは。
市長　事業所が農地を借り、農産品を市内スーパーへ出荷、販売している。就労機会の拡大に向け、調査研究を進めていく。

農作業の様子

各議員の氏名の左にあるＱＲコードをスマートフォン等の専用アプリで読み取ると、一般質問の録画映像をご覧いただけます。

新型コロナウイルスワクチン接種を希望する若い世代への取り組みについて

公明党越谷市議団　久保田　茂　議員

問　若い世代の接種を増やす取り組みは。

市長　若い世代の方が集まりやすい大型ショッピングモールの活用や、就労している方が接種しやすい土日、祝日の開催も含め、越谷市医師会と調整していく。

問　ワクチンの安全性・有効性の周知は。

市長　根拠のないデマやうわさに惑わされないよう、正しい情報をプッシュ型で提供するとともに、埼玉県が作成するインストリーム広告や動画を有効活用していく。

小中学校における コロナ対策について

日本共産党越谷市議団　工藤　秀次　議員

問　新型コロナウイルスの感染により、小中学校の５校（９月９日現在）が学級閉鎖を行っている。こうした場合、感染拡大の恐れから、子どもたちや保護者に対して大きな不安を与えてしまう。そこで、感染者が発生した学級は、児童に幅広くＰＣＲ検査を実施することが必要と考えるが、市の考えは。

教育長　ＰＣＲ検査の対象を拡大して実施するよう検討する。

ＰＣＲ検査キット

公共施設等総合管理計画の見直しについて

日本共産党越谷市議団　宮川　雅之　議員

問　人口減少等に伴い公共施設を削減するという公共施設等総合管理計画は見直し、人口減少となっても現状の施設を維持するべきである。特に保育所、小中学校を減らさないことは子育て施策の拡充となり、少子化克服につながると考えるが、公共施設の統廃合の考え方は。

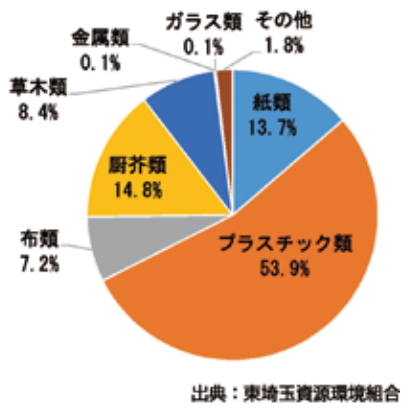
市長　予想される人口減少等を見据え、必要に応じ計画の見直しを行い、施設の適正な運営に努める。

これからの ごみ処理計画について

立憲・市民ネット　清水　泉　議員

問　市のごみ処理計画が改定されたが平成２９年より増えている。さらなる減量が必要だが市の考えは。また、プラスチック資源循環促進法が成立したが市の計画は。

市長　ＳＤＧｓの視点を取り入れ４Ｒの推進、食品ロスの削減、市民・行政・事業者の相互連携を図りながらごみの減量、資源化に取り組む。またプラスチックごみの削減は分別方法や資源化に向け検討していく。



令和元年度家庭系燃えるごみ組成調査結果(越谷市)

コロナ患者受入施設の拡充について

自由民主党越谷市議団　服部　正一　議員

問　コロナ対策強化のため、市立病院で抗体カクテル療法を導入する考えは。

市長　ご提案の市立病院での抗体カクテル療法実施については、院内の駐車場などに簡易な建物を設置するなど、一般の患者とは完全に隔離した場所を確保して実施することになるが、市立病院のみで全てに対応することは困難であることから、今後国や県の動向を注視しつつ、実現の体制も含めて調査検討する。

線路の高架化もしくは踏切における歩道の整備について

越谷刷新クラブ　野口　高明　議員

問　長期的に高架化、短期的には危険な踏切の歩道の整備とともに、検討いただきたいが、市の見解は。

市長　（東武伊勢崎線北越谷駅以北の）高架化については、引き続き、要望活動を、踏切の歩道整備等については、交通量の調査なども含めて、地元等の意向、そういった現状を把握するとともに、さまざまな課題の整理を進めていきたい。

大袋駅北側の踏切の様子

広報ツールとしてのマンホール蓋の可能性について

立憲・市民ネット　松田　典子　議員

問　マンホールカード「しらこばと」「ガーヤちゃん」や、越谷市のマンホール蓋を下水道広報やシティプロモーションにもっと活用していく考えは。

市長　マンホールカードは、これまで１万７０００人を超える方が受け取りに来られた。多くの方に下水道への関心や理解をいただくため、今後も調査検討を行い、可能な限り広報活動や啓発事業に取り組んでいく。

ＰＣＲ検査の現状と拡充について

日本共産党越谷市議団　山田　大助　議員

問　次の感染爆発をおこさないために、いつでも誰でも何度でもＰＣＲ検査ができる体制を作るべきと考える。その際の費用や人的資源の確保について、さらなる国の支援を求める考えは。

市長　財源や人的資源が限られているが、検査の拡充に努めていきたい。国として検査体制の充実や財政的支援をすることが感染拡大防止に必要と考えており、機会があるごとに国に要望していきたい。

ドライブスルー形式で行われるＰＣＲ検査のイメージ

ライブ中継、録画中継を配信！

議会中継がご覧になれます

令和３年５月から議会中継をリニューアルし、本会議に加え、常任委員会と特別委員会のライブ中継もご覧いただけるようになりました。

ご自宅等のパソコンから、ご自身のスマートフォンから、いつでも気軽に市議会の様子がご覧いただけます。

越谷市議会ホームページから議会中継サイトにアクセス、または、ＱＲコードを読み取り、ご覧になりたい映像を選択してご覧ください。

2月1日号 表紙写真を募集します

令和４年２月１日号のこしがや市議会だよりの表紙写真を募集します。

募集内容

越谷市に関連する行事、風景、人物、その他季節に合うもの

応募規定

１人１回につき２枚まで。おおむね３年以内に撮影したもの。（ただし、景観に変化がなければ制限はありません）

応募資格

越谷市在住、在勤または在学の方

応募期間

令和４年（２０２２年）１月１３日（木）まで

応募方法・応募先

応募票に写真を添えて議会事務局（本庁舎７階）まで提出してください。

また、写真をメールで提出していただくこともできます。採用された写真には、応募者（撮影者）の氏名、写真のタイトル、撮影場所を掲載します。なお、応募写真は表紙に合わせて、適宜トリミングや文字の追加等の画像編集を行いますのでご了承ください。

※応募規定など詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

こしがや市議会からのお知らせ

議会人事

※記載内容は令和３年１０月２６日現在のものです。越谷市議会議員補欠選挙（１０月３１日）による議会人事は次号に掲載します。

議員の辞職

次の方々が辞職しました。

▷令和３年８月３１日付辞職
福田　晃

▷令和３年１０月１３日付辞職
松島　孝夫

▷令和３年１０月１５日付辞職
服部　正一

会派代表者の変更

令和３年１０月１３日付で「越谷刷新クラブ」の代表者が武藤智議員に変更になりました。

会派の構成

議員の辞職により、次の会派の構成が変更になりました。（◎代表者）

■自由民主党越谷市議団

◎野口　佳司　伊藤　治　金井　直樹
島田　玲子　小林豊代子　大野　保司
野口　和幸

■立憲・市民ネット

◎細川　威　後藤　孝江　松田　典子
山田　裕子　清水　泉

■越谷刷新クラブ

◎武藤　智　浅古　高志　野口　高明

審議会等委員

令和３年９月定例会において、民生常任委員会委員長、審議会等委員の辞任等に伴い、次の方々を選出しました。

民生常任委員会委員長
島田　玲子

越谷・松伏水道企業団議会議員
野口　和幸　後藤　孝江

社会福祉審議会委員
島田　玲子

越谷市土地開発公社理事
松田　典子

越谷市社会福祉協議会評議員
島田　玲子

埼玉県共同募金会越谷市支会評議員
島田　玲子

12月定例会の開催予定

令和３年１２月定例会は、１１月３０日（火）から１２月１７日（金）までの１８日間にわたって開催する予定です。

詳しくは、市議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。
（☎９６３－９２６１）

傍聴して一言

本定例会では、７８人の傍聴者がありました。いただいた感想から一部要約して紹介します。

■前回傍聴した時は、発言者の聞きとりが困難だったが、今回はスピーカーがついたことにより、きれいに聞こえて良かった。

■以前の議場より議長席から傍聴席までの距離感が無くなったのは良かったと思う。

■一人の質問時間をもっと充分に取って欲しいと感じた。

市議会豆知識

市議会の用語や仕組みを解説します。

●請願

請願は、議会に対し、市民生活などについての意見や要望・希望を述べる事ができる制度です。市議会への請願（請願書の提出）は、市議会議員の紹介が必要です。

提出された請願は、文書表に取りまとめられ、議案と同様に委員会に付託され、詳しく審査された後、本会議において採択・不採択を決します。

編集後記

「越谷市総合防災ガイドブック」はお読みいただけましたか。市議会でもそれぞれの議員が防災について提言したり、毎年災害対応訓練を実施するなど、高い防災意識をもって、安全・安心のまちづくりに励んでおります。

これからも議員活動にご理解・ご協力を賜り、皆さんの意見をお寄せいただきますようよろしくお願いします。

議会報専門協議会委員
工藤　秀次